

令和 5 年度クロスチェック実施要領

1 公共用水域の水質測定におけるクロスチェック

(1) 目的

令和 5 年度公共用水域の水質測定について、データの信頼性を確保することを目的とする。

(2) 実施方法

令和 5 年度公共用水域水質調査業務委託仕様書第 5 項（4）に基づく分析精度の確認については、同一検体を県の分析機関及び公共用水域水質調査委託業者（以下「委託業者」という。）の 2 分析機関で測定・評価するクロスチェック方式により実施するものとする。

(3) 実施機関

委託業者、環境創造センター及び水・大気環境課

(4) 測定回数及び測定項目

- ・ 測定回数：1 地点（年 3 回）
- ・ 測定項目：pH、DO、COD、大腸菌数、T-N、T-P

※ 調査日については、別途環境創造センターと調整し定める。

(5) 分析方法

仕様書別紙 5 のとおり

(6) 試料採取等

採水容器は委託業者が用意し、試料採取も委託業者が実施する。

環境創造センター職員が試料採取に立会い、試料を搬入する。

※ DO の固定については、環境創造センター職員が実施する。

(7) 測定結果の報告

委託業者は、クロスチェックを行う測定項目の測定結果について、速やかに環境創造センターへ報告する。

環境創造センターは、クロスチェックを行う測定項目の測定結果について、自己の測定値と委託業者の測定値を比較し、水・大気環境課へ報告する。

(8) 評価基準に合致しなかった場合の措置

2 機関の測定値が評価基準に合致しない項目があった場合、水・大気環境課は、委託業者に対してその測定結果となった経緯等の調査を求めるとともに、その要因を調査・検討し、必要に応じて委託契約上の措置を実施するものとする。

2 水浴場水質調査におけるクロスチェック

(1) 目的

令和5年度水浴場水質調査について、データの信頼性を確保することを目的とする。

(2) 実施機関

水浴場水質調査事業受託業者（以下、「受託者」という。）、会津地方振興局及び相双地方振興局（採水）、環境創造センター及び水・大気環境課

(3) 測定回数

2地点（年2回）

(4) 測定項目

COD

(5) 分析方法

仕様書別紙4のとおり。

(6) 試料採取等

採水容器は委託業者が用意し、試料採取は管轄する地方振興局が実施し、委託業者へ試料を受け渡す。

(7) 測定結果の報告

受託者は、当クロスチェックの分析項目の測定結果について、速やかに環境創造センターへ報告する。

環境創造センターは、自己の測定値と合わせて調査結果を比較し、水・大気環境課へ報告するものとする。

(8) 目標範囲に入らなかった場合

両機関の分析結果が、事前に設定した目標範囲に入らなかった場合、水・大気環境課が受託者、環境創造センター双方に分析方法やサンプル量、試薬、分析時の状況等分析の詳細を調べ、2機関の分析結果に開きが生じた原因を追及する。

必要があれば、再度2機関による分析を行い、改善すべきことがあれば改善する。

また、水・大気環境課は、再検査が必要と判断した場合、速やかに実施機関に通知するものとする。